

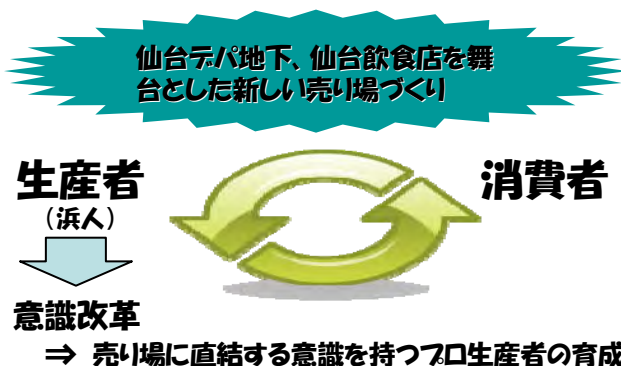
## 取組2 仙台デパ地下、仙台飲食店をステージとした新しい売り場づくり

### デパ地下や飲食店と生産地の連携

- 実施地域 : 宮城県仙台市
- 実施期間 : 10月下旬～3月末
- 実施内容 :
  - 漁場から供給されるコンテンツを用いた新しい店頭販売システムの構築
  - ・ 浜人を送り込んだ週末型継続売り場
  - ・ 業販店へのコンテンツ・食材供給



100万都市仙台マーケットに、コンテンツと商品を供給し、地元生産者、後継者、水産大学生を派遣しての、「研修型の売り場」を設置。顧客開拓と関係作りを模索。



### デパートでの週末型継続イベント

- デパート催事場などの一角を借り受け、そこに三陸の番屋風景を再現。
- 生産者・漁協関係者・学生などを派遣し、管理運営責任者の指導を受けながら、お客様とのふれあい、実演販売の経験を積ませ、新規顧客の獲得および、お客様の嗜好分析など、生産計画に反映できる管理者を育成。
- アンケートを顧客から取得し、次回イベントの軌道修正を行いながら、回を重ねるごとに精度を高める取組みを実施。
- 会場には、キオスク端末を設置し、今の生産現場をお客様にご案内しながら、会場との一体感を演出するとともに、取組1で導入したサイトの周知もあわせて実施。

### 飲食店でのイベント(食材・営業ツールの供給)

- 数量の見込める業務用をターゲットに、店舗が鮮度アピールや旬のPR等、取組1で作成したコンテンツ類を販売促進に活用しながら、産直食材の利用促進を行う体制を整備。
- ライブカメラのコンテンツや、季節ごとのイメージ映像を供給できる体制、と上映端末の設置、その店舗の営業形態に見合った販促システムを開発。
- 取組1で作成されたコンテンツを飲食店のHPなどへのコンテンツ乗り入れ配信を行うなどし、集客・販売に効果的な仕組み作りを行い、産直品の使用促進に努める。
- 飲食店にキオスク端末を設置し、今の生産現場をお客様にご案内しながら、生産現場との一体感を演出すると共に、取組1で導入したサイトで周知。